

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月2日

上場取引所 東大

上場会社名 エーザイ株式会社

コード番号 4523 URL <http://www.eisai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 内藤 晴夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役 コーポレートコミュニケーション担当 (氏名) 松江 裕二

TEL 03-3817-5120

四半期報告書提出予定日 平成22年2月5日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	604,489	1.0	85,061	15.9	80,069	20.6	53,919	37.7
21年3月期第3四半期	598,695	—	73,416	—	66,391	—	39,171	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	189.25	189.23
21年3月期第3四半期	137.49	137.44

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	1,140,261	432,008	37.4	1,496.77
21年3月期	1,148,163	433,045	37.3	1,502.08

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 426,443百万円 21年3月期 427,952百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	70.00	—	70.00	140.00
22年3月期	—	70.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	80.00	150.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	803,000	2.7	81,500	△11.2	74,500	△9.8	40,300	△15.5	141.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

除外 1社(Eisai Research Institute of Boston Inc.)

(注) 詳細は、15ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、15ページ【定性的情報・財務諸表等】5. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	296,566,949株	21年3月期	296,566,949株
---------------------	-------------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	11,657,332株	21年3月期	11,660,830株
-----------	-------------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	284,906,621株	21年3月期第3四半期	284,903,710株
----------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 予想数値、予想の前提条件その他については、13~14ページをご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する概要

## 1) 当四半期の経営成績（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

## [売上高、損益の状況]

○ 当四半期の連結業績は、次のとおりとなりました。

売上高	6,044億89百万円	(前年同期比)	1.0%増
営業利益	850億61百万円	(同)	15.9%増
経常利益	800億69百万円	(同)	20.6%増
四半期純利益	539億19百万円	(同)	37.7%増

- 売上高については、アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は2,375億61百万円（前年同期比3.8%増）と増加いたしました。プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」（米国名「アシフェックス」）は1,143億84百万円（同7.1%減）、がん関連領域製品は578億43百万円（同1.7%減）となりました。
- 研究開発活動への継続的な資源投入を行う一方で、販売管理費の効率化を進めた結果、営業利益、経常利益および四半期純利益は増益となりました。
- これにより、1株当たりの四半期純利益は189円25銭（前年同期より51円76銭増）となりました。

## [キャッシュ・インカム]

- 当社グループは、キャッシュ創出力を表す経営指標として、キャッシュ・インカムを使用しております。
- キャッシュ・インカムは、成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。
- 当四半期純利益は539億19百万円、有形・無形固定資産の減価償却費は367億97百万円およびのれん償却額は64億2百万円となりました。
- その結果、当四半期のキャッシュ・インカムは971億19百万円（前年同期比7.9%増）となり、1株当たりキャッシュ・インカムは340円88銭（前年同期より24円93銭増）となりました。

## \*キャッシュ・インカムの算式

当期純損益＋有形・無形固定資産減価償却費＋インプロセス研究開発費＋のれん償却額＋減損損失（投資有価証券評価損含む）

## \*1株当たりキャッシュ・インカムの算式

キャッシュ・インカム÷発行済株式数（自己株式控除後）

## [セグメントの状況]

（各セグメントの売上高は外部顧客に対するものであります）

## ①事業の種類別セグメント

## &lt;医薬品分野&gt;

- 医薬品分野の売上高は5,889億56百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は877億79百万円（同16.0%増）となりました。

## &lt;その他の分野&gt;

- 食品添加物、化学品、製薬用機械等の売上高は155億33百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益は16億19百万円（同17.7%増）となりました。

## ②所在地別セグメント

## &lt;日 本&gt;

- 売上高は2,803億16百万円（前年同期比8.4%増）、営業利益は758億9百万円（同24.4%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は725億98百万円（前年同期比19.0%増）、「パリエット」の売上高は430億46百万円（同22.9%増）とそれぞれ伸長いたしました。

## &lt;北 米&gt;

- 売上高は2,617億57百万円（前年同期比5.6%減）、営業利益は57億65百万円（同16.2%減）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は1,382億88百万円（前年同期比0.6%減、現地通貨では9.3%増）、「アシフェックス」の売上高は612億63百万円（同19.9%減、現地通貨では12.0%減）となりました。

## &lt;欧 州&gt;

- 売上高は390億95百万円（前年同期比3.8%減）、営業利益は38億85百万円（同45.2%増）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は217億48百万円（前年同期比5.3%減）、「パリエット」の売上高は62億30百万円（同17.4%減）となりました。

## &lt;中 国&gt;

- 売上高は113億13百万円（前年同期比31.7%増）、営業利益は15億14百万円（同12.5%減）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は9億19百万円（前年同期比32.7%増）、「パリエット」の売上高は7億91百万円（同53.2%増）となりました。

## &lt;アジア他&gt;

- 売上高は120億7百万円（前年同期比12.9%減）、営業利益は18億60百万円（同40.5%減）となりました。
- 「アリセプト」の売上高は40億6百万円（前年同期比23.1%減）、「パリエット」の売上高は30億52百万円（同15.2%減）となりました。

## &lt;海 外 計&gt;

- 日本を除く海外所在地別売上高の合計は、3,241億73百万円（前年同期比4.7%減）となり、連結売上高に対する構成比は53.6%（前年同期より3.2ポイント減）となりました。

## 2) 当3カ月間の経営成績(平成21年10月1日～平成21年12月31日)

- 当3カ月間の連結売上高は、2,095億7百万円(前年同期比4.8%増)となりました。
- 「アリセプト」の売上高は815億42百万円(前年同期比6.8%増)で、うち日本が268億63百万円(同18.2%増)、米国が455億34百万円(同0.7%減、現地通貨では7.0%増)となりました。  
「パリエット/アシフェックス」の売上高は410億50百万円(前年同期比1.0%増)で、うち日本が168億57百万円(同26.2%増)、米国が208億27百万円(同11.8%減、現地通貨では5.7%減)となりました。  
がん関連領域製品の売上高は、188億48百万円(同1.9%減)となりました。
- 所在地別の外部顧客に対する売上高は、日本が前年同期比9.5%増、北米が同3.5%減、欧州が同20.8%増、中国が同56.3%増、アジア他が同3.6%増となりました。
- 研究開発費は361億27百万円(前年同期比7.1%減)、販売費・一般管理費は948億7百万円(同0.3%増)となりました。
- 営業利益は359億41百万円(前年同期比33.8%増)、経常利益は348億72百万円(同53.1%増)、第3四半期純利益は229億96百万円(同119.9%増)となり、1株当たり四半期純利益は、80円72銭(前年同期より44円1銭増)となりました。

## 3) 米国 AkaRx, Inc.の買収について

当社グループは、平成20年1月に完了した米国 MGI PHARMA, INC.の買収に伴い獲得した米国 AkaRx, Inc.買収オプション権を行使し、平成22年1月に同社を255百万米ドルで買収いたしました。

本買収により、当社グループは、AkaRx, Inc.を米国事業会社 Eisai Inc.の100%子会社にするとともに、AkaRx, Inc.の開発品であった血小板減少症治療剤「AKR-501」(現在の開発品コード: E5501)について、全世界を対象とした開発・販売・製造権を獲得いたしました。

「AKR-501」は、血小板産生を促すトロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板減少を示す様々な疾患に対する効果が期待されております。現在、当社が米国において、特発性血小板減少性紫斑病 (Idiopathic Thrombocytopenic Purpura: ITP) および肝疾患に伴う血小板減少症を対象としたフェーズII試験を進めており、ITPについてはPOC (Proof of Concept: 創薬概念の検証) が確認されております。また、がん化学療法に伴う血小板減少への適応についても可能性を追求してまいります。

## 4) 研究開発などの状況

## [開発品の状況]

- 抗がん剤「E7389」（微小管ダイナミクス阻害剤）は、乳がんを対象としたフェーズⅢ試験を欧米で実施しており、日本でもフェーズⅡ試験が進行中であり、また、非小細胞肺癌（米国）、前立腺がん（欧米）、肉腫（欧州）を対象としたフェーズⅡ試験等を進めております。なお、平成21年7月、スイス、シンガポールにおいて、211試験（フェーズⅡ試験）等の試験結果に基づき、局所進行性および転移性乳がんを適応として承認申請をいたしました。
- エンドトキシン拮抗剤「E5564」は、日本、米国、欧州での同時申請をめざして、重症敗血症を対象としたフェーズⅢ試験が進行中であり、本試験は、国際共同試験として取り組んでおります。
- AMPA受容体拮抗剤「E2007」は、てんかん適応の開発を優先的に取り組むことといたしました。てんかんを対象としたフェーズⅢ試験を欧米で実施しており、日本でもフェーズⅡ試験が進行中であり、なお、神経因性疼痛を対象としたフェーズⅡ試験は欧米で進行中であり、
- アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」は、平成21年7月、日本で新剤形の内服ゼリー剤の承認を取得いたしました。また、平成21年11月、米国で高用量製剤である「アリセプト23mg徐放製剤」の承認申請が受理されました。
- 速効型インスリン分泌促進剤「グルファスト」は、平成21年7月にフィリピン、平成21年12月にタイで承認を取得いたしました。
- てんかん治療剤「Inovelon」は、平成21年7月、韓国でレノックス・ガストー症候群の併用療法の効能・効果で承認を取得いたしました。
- DNAメチル化阻害剤「Dacogen」は、平成21年7月、米国で骨髄異形成症候群の治療において5日間投与とする用法・用量追加の申請が受理されました。また、平成21年6月、小児急性骨髄性白血病に対する有用性を検証するための試験実施に関して米国食品医薬品局（FDA）より Written Request（臨床試験実施要請書）を受領いたしました。
- プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「パリエット」は、平成21年9月、日本で非びらん性胃食道逆流症に関する効能・効果追加の申請をいたしました。本疾患に関する効能・効果追加の申請は、平成18年3月に行い、平成20年2月に申請をいったん取り下げましたが、その後申請データを補完する追加試験を実施し、このたび再申請をいたしました。また、平成21年9月、日本でアモキシシリン水和物およびクラリスロマイシンまたはメトロニダゾールとの3剤併用による、胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、および特発性血小板減少性紫斑病におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法に関する効能・効果追加の申請をいたしました。さらに、日本で機能性ディスぺプシアを対象としたフェーズⅡ試験を開始いたしました。
- ヒト型抗ヒトTNF $\alpha$ モノクローナル抗体「ヒュミラ」は、日本で、平成21年9月にクローン病、平成21年10月には強直性脊椎炎について、それぞれ効能・効果追加の申請をいたしました。また、平成22年1月、日本で尋常性乾癬およ

び関節症性乾癬の効能・効果と用法・用量の追加承認を取得いたしました。

- 頻脈性不整脈治療剤「タンボコール錠」は、平成22年1月、日本で小児における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、発作性上室性、心室性）の効能・効果および用法・用量の追加申請をいたしました。
- 抗がん剤「MORAb-003」（モノクローナル抗体）の卵巣がんを対象としたフェーズⅢ試験を欧州でも開始し、欧米において進行中であります。
- 糖尿病合併症治療剤「AS-3201」は、欧米で糖尿病性神経障害を対象としたフェーズⅡ／Ⅲ試験を開始し進行中であります。
- 血小板減少症治療剤「AKR-501」は、米国で特発性血小板減少性紫斑病を対象としたフェーズⅡ試験が終了いたしました。また、米国で肝疾患に伴う血小板減少症を対象としたフェーズⅡ試験を開始し、進行中であります。
- 抗がん剤「E7080」（VEGF 受容体チロシンキナーゼ阻害剤）の甲状腺がんを対象としたフェーズⅡ試験を欧州でも開始し、欧米において進行中であります。
- 抗がん剤「MORAb-009」（モノクローナル抗体）は、中皮腫に対する開発に集中することといたしました。同疾患を対象としたフェーズⅡ試験を欧州でも開始し、欧米において進行中であります。なお、すい臓がん適応に関しては、今後の開発戦略を検討することといたしました。

[主な提携などの状況]

- 平成21年5月、シンバイオ製薬株式会社（東京都）と、韓国およびシンガポールの2カ国を対象とした「ベンダムスチン塩酸塩」の開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結いたしました。本契約により、当社は韓国およびシンガポールにおけるベンダムスチンの独占的開発および販売権を獲得いたしました。
- 平成21年7月、当社のジェネリック医薬品事業子会社エルメッド エーザイ株式会社は、株式会社三和化学研究所（愛知県）と、経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤「メニレット 70%ゼリー20g」および「メニレット 70%ゼリー30g」に関して、日本における販売に係るライセンス契約を締結いたしました。本契約により、エルメッド エーザイは三和化学研究所より日本国内における本製品の独占的販売権を獲得いたしました。また、当社は本製品の販売に関してエルメッド エーザイと販売提携をいたしました。
- 平成21年7月、Biocompatibles International plc（英国）と血管塞栓用ビーズに関する日本における開発と販売に係るライセンス契約を締結いたしました。本契約により、当社は、Biocompatibles International plc が開発したポリビニルアルコールハイドロジェルマイクロスフィアとその関連製品について、日本での独占的開発および販売権を獲得いたしました。
- 「アリセプト」に関するファイザー社との戦略的提携契約（平成6年10月締結）について、その法的解釈の相違に基づく論争を解決すべく、同社と話し合いを進めてまいりました。そして、平成21年9月に両社間で包括的な合意にいたりました。両社間の主な合意事項は、次のとおりであります。

- 1) 「アリセプト」に関する戦略的提携契約の一部変更  
米国、日本、欧州主要国での「アリセプト」のコ・プロモーションの継続。  
ただし、日本においてはコ・プロモーション契約を平成24年12月31日をもって終了。
  - 2) ファイザー社の新製品に関する新たな提携関係の締結  
ファイザー社の神経障害性疼痛治療薬「プレガバリン（一般名）」（欧米では「Lyrica」として上市済み、日本では承認申請中）について、日本市場におけるコ・プロモーションの実施。
- 平成21年9月、株式会社キョーリンの子会社である杏林製薬株式会社と、同社が創製した過活動膀胱治療剤「ウリトス」に関するライセンス契約を締結しました。本契約により、当社は杏林製薬より中国・アセアン諸国・インド・スリランカにおける本剤の独占的開発権および販売権を獲得いたしました。
  - 平成21年10月、株式会社 TSD Japan（大阪府）と denileukin diftitox（一般名）に関する日本におけるライセンス・共同開発契約を締結いたしました。本契約により、当社は TSD Japan に対し、日本における本剤の独占的共同開発権を供与いたしました。製造販売承認取得後は、当社が本剤を日本において独占的に販売する権利を保有いたします。なお、本剤は米国ではオーファンドラッグにも指定されており、「ONTAK」の製品名で当社の米国子会社が販売しております。
  - 平成21年10月、当社グループのがん関連疾患領域におけるプロダクト・クリエーション戦略をより一層推進すべく、当社グループが現在開発中の6種の抗がん剤〔eribulin（E7389）、E7080、ONTAK、E7820、E6201、E7050〕に関する戦略的提携契約をクインタイルズ社と締結いたしました。本契約は、両社が臨床開発のリスクをシェアしながら戦略的に協働するという新たなビジネスモデルであり、複数の新薬候補化合物に関して複数の適応開発を同時進行させることにより、開発期間を大幅に短縮するとともに開発の確度を高めることを目的としております。

#### [主なトピックス]

- 平成21年4月、医薬品販売会社 Eisai GesmbH をオーストリアに設立いたしました。
- 平成21年6月、欧州戦略拠点「欧州ナレッジセンター」（英国ハットフィールド）を正式に開設いたしました。本センターには、ロンドン研究所の拡張・強化のための探索研究機能をはじめとして、臨床研究、生産、マーケティング、欧州事業統括の各機能が集約されました。これらの機能が1カ所に所在することにより、各機能間の日常のコミュニケーションが円滑に進められ、本センターの名称にふさわしい「ナレッジ・クリエーション」がはかられることとなります。また、生産に関しては、当社グループにとって欧州初の拠点であり、これまで提携パートナー社等に依存してきた製造を自社で担うこととなります。

欧州事業展開において、当社グループは欧州を1つの市場と捉え、マーケティング、メディカル、ファイナンス、ITなどのサービス機能を欧州統括会社に集約させ、一方、各販売会社には販売に特化した機能を持たせることで、高い効率性・生産



性の確保を追求した独自の新たなビジネスモデルである「欧州効率化モデル」への転換を進めております。今回の「欧州ナレッジセンター」の完成により、本ビジネスモデルを強力に推進する体制が整いました。

- 当社グループでは、研究開発活動をプロダクト・クリエーションと位置づけ、この活動を推進するために、平成21年7月より、新しい組織体制として「エーザイ・プロダクト・クリエーション・システムズ (EPCS)」をスタートいたしました。EPCSは、プロダクト・クリエーション・ユニット (PCU)、コア・ファンクション・ユニット (CFU)、CEOオフィスで構成されます。PCUは、革新的新薬候補の発明・発見から承認申請、承認取得に至るまでの一連のプロセスをタイムリーに進行させることについてすべての責任を負うユニットであり、がん領域、神経領域など7ユニットで構成されます。CFUはオペレーション、技術、薬制などのコア・ファンクションにおいて、グローバル・クラスの能力を獲得・維持し、PCUと同列のパートナーとして新薬候補の開発推進をすることにすべての責任を負うユニットであり、原薬・製剤研究、代謝・安全性など6つの機能別ユニットで構成されます。この13のユニットが相互に連携し、共同して製品創出に取り組んでまいります。そして、CEOオフィスは、プロダクト・クリエーション組織戦略策定、コーポレート・ポートフォリオ・マネジメント、プロダクト・クリエーション活動推進の責任を負います。EPCSのめざすところは、製品の創出活動において、より患者様志向を明確にすることにあります。患者様の喜怒哀楽を理解し、患者様が明示的に感じられている問題、暗黙的に持たれている課題に対して、革新的な治療を提供することにより、患者様の生命・生活の質を改善することを各々の活動目的としております。そのために、自律的な環境の下で明確な責任を持った疾病・技術領域別専任組織を形成し、製品創出におけるオーナーシップとモチベーションを高め、生産性・効率性の向上へとつなげてまいります。EPCSにより、未だ十分な治療法が確立されていない疾病の克服や患者様や介護者の皆様のQOLの向上に資する革新的な新薬の早期創出をめざしてまいります。
- 平成21年9月、独立非営利財団である *Drugs for Neglected Diseases initiative* (本部：スイス、以下「DND*i*」) と、シャーガス病に対する新しい治療薬の臨床開発に関する提携およびライセンス契約を締結いたしました。本契約により、DND*i*は、シャーガス病の蔓延地域において自らの責任で「E1224」(当社が創製した抗真菌剤 *ravuconazole* のプロドラッグ) の臨床開発を行い、その有効性および安全性を検証いたします。一方、当社はDND*i*に対し、臨床開発に関する科学的専門知識ならびに臨床試験用の製剤を提供いたします。また、当社は、DND*i*の事業化パートナーとして、本剤の製造、承認申請・登録、および本疾患の蔓延地域においてパブリックセクターを通じて本剤を安価で提供することの選択権を有しております。今回の提携は、患者様とご家族のアンメット・メディカル・ニーズを充足し、ベネフィット向上に貢献するという当社のヒューマン・ヘルスケア (*h h c*) ミッションをさらに具現化するものと考えております。
- 当社が掲げているデマンド・イノベーションの実現に向け、創薬段階より患者様

志向を明確にしたプロダクト・クリエーション活動を一層推進するために、平成21年10月、米国において、米国事業会社 Eisai Inc.は、医薬品の探索研究および治験用原薬の工業化研究・製造を担う米国子会社 Eisai Research Institute of Boston Inc.、医薬品の臨床研究を担う米国子会社 Eisai Medical Research Inc.を吸収合併いたしました。また、英国では、医薬品の探索研究を担う英国子会社 Eisai London Research Laboratories Ltd.は、英国事業会社 Eisai Ltd.へ事業を譲渡いたしました。

- 平成21年10月、アジア統括会社である Eisai Asia Regional Services Pte. Ltd. (シンガポール) の支店として、バーレーンにリージョナルオフィスを正式に開設いたしました。当社グループは現在、米国、欧州、アジアでグローバルに事業を展開しておりますが、あわせて中東・北アフリカ地域における将来の本格的な事業展開を視野に入れております。
- 平成21年10月、ドイツ、英国、オーストリア、デンマークでてんかん治療剤「Zebinix」を発売いたしました。
- 平成21年11月、米国で鎮静剤「LUSEDRA 注射剤」を発売いたしました。
- 平成21年12月、インドにおける新しい生産・プロセス研究拠点である「エーザイ・ナレッジセンター・インド」が竣工いたしました。

本施設は、当社グループとしては初めて、医薬品の原薬・製剤の生産および原薬のプロセス研究機能を1カ所に集約した拠点となります。既存主力製品の原薬・製剤の生産を行うほか、次期グローバル製品の原薬プロセス研究や原薬・製剤の生産を行う予定であり、これにより、当社グループの原薬生産は、本施設と鹿島事業所(茨城県)の2拠点体制が整うこととなります。当社としては、将来、本施設からのグローバル供給をも視野に入れ、高品質の医薬品を安定供給すること、そしてその基盤となる原薬合成プロセスにおけるイノベーションの実現をめざしてまいります。

## 2. 連結財政状態に関する概要

### [資産等の状況]

- 当四半期末の資産合計は、1兆1,402億61百万円（前期末より79億1百万円減）となりました。償却等によりのれん、販売権等の無形固定資産が減少いたしました。一方、国内販売の伸長により売掛金等が増加いたしました。
- 負債合計は7,082億53百万円（前期末より68億64百万円減）となりました。
- 純資産合計は4,320億8百万円（前期末より10億36百万円減）となり、自己資本比率は37.4%（前期末より0.1ポイント増）となりました。

### [キャッシュ・フローの状況]（平成21年4月1日～平成21年12月31日）

- 当四半期の営業活動から得たキャッシュ・フローは、593億17百万円（前年同期より116億47百万円減）となりました。税金等調整前四半期純利益は797億47百万円、減価償却費は367億97百万円、売上債権の増加額は282億12百万円、法人税等の支払額は503億12百万円であります。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、278億3百万円の支出（前年同期より90億36百万円減）となりました。そのうち、有形固定資産の取得に163億63百万円を支出いたしました。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、147億28百万円の支出（前年同期より86億55百万円増）となりました。配当金の支払に398億87百万円を支出いたしました。
- 以上の結果、当四半期末における現金及び現金同等物は、1,426億88百万円（前期末より111億61百万円増）となりました。

### 3. 利益配分に関する考え方および期末配当予想

株主還元については、連結業績、連結純資産配当率（DOE）およびキャッシュ・インカムを総合的に勘案し、株主の皆様へ継続的・安定的な配当を実施しております。

DOEには、株主の皆様への利益配分を示す配当性向（DPR）と、株主の皆様が投資した資金を使いどれだけ効果的に利益を出せたかを示す自己資本当期純利益率（ROE）の2つの要素が含まれております。

キャッシュ・インカムは、企業のキャッシュ創出力を表しております。その用途は、成長投資・事業開発、株主様への配当支払い、借入金返済等の財務体質の強化などであり、それぞれに対し中期的にバランスよく配分することが重要と考えております。

このような観点から、連結業績に加えDOEならびにキャッシュ・インカムを総合的に勘案することは、中期的な株主還元指標としてバランスのとれた相応しいものと考えております。また、自己株式の取得に関しては、適切な時期に機動的に実施いたします。

当社は委員会設置会社であり、剰余金の配当等に関しては機動的に行うことを目的として取締役会決議とすることを定款に定めております。

期末配当金は、株主の皆様への継続的・安定的な配当という基本方針に基づき、従来の予想どおり1株当たり80円（前年同期より10円増）を予定いたします。年間配当金は1株当たり中間（第2四半期末）配当金70円とあわせ、1株当たり150円（前期より10円増）を見込んでおります。

4. 平成22年3月期の連結業績予想 (平成21年4月1日～平成22年3月31日)

[連結業績予想]

○通期の連結業績の見通しについては、昨年12月に発表した予想を、次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比	(A-B)	
売上高	8,030億円	2.7%増	8,200億円	4.9%増	△170億円	△2.1%
営業利益	815億円	11.2%減	803億円	12.5%減	12億円	1.5%
経常利益	745億円	9.8%減	743億円	10.0%減	2億円	0.3%
当期純利益	403億円	15.5%減	403億円	15.5%減	—	—

\* 1株当たり予想当期純利益(通期) 141円45銭

(第4四半期の前提為替レート: 1米ドル90円、1ユーロ130円、1ポンド145円)

<売上高>

- 売上高については、主力品の「アリセプト」やがん関連領域製品は堅調に推移しておりますが、米国プロトンポンプ阻害剤市場のジェネリック化進展による「アシフェックス」への影響や為替のドル安等により、前回予想より170億円減額となる8,030億円を見込んでおります。
- 主力品の「アリセプト」は前回より90億円の減額となる3,210億円、「パリエット/アシフェックス」は90億円減額の1,480億円を見込んでおります。

<利益>

- 営業利益については、売上高の減少にともなう営業費用の減少が見込まれることなどから、前回予想を12億円上回る815億円を見込んでおります。  
なお、AkaRx, Inc.買収額255百万米ドル(約236億円)は、すべてインプロセス研究開発費\*として費用処理いたします。
- 経常利益については前回予想から2億円増額となる745億円、当期純利益については前回予想どおりの403億円を見込んでおります。
- キャッシュ・インカムについては、前回予想を5億円上回る1,205億円を見込んでおります。

\* インプロセス研究開発費

特定の研究活動の目的で利用され、将来他の目的に使用できない資産であり、研究開発費として一括して計上される費用のことです。

(参考)

## [個別業績予想]

- 通期の個別業績の見通しについては、昨年5月に発表した予想を、次のとおり修正いたします。

	今回発表予想		前回発表予想		増減額	増減率
	(A)	前期比	(B)	前期比	(A - B)	
売上高	4,330億円	4.2%増	4,410億円	6.1%増	△80億円	△1.8%
営業利益	770億円	1.5%増	710億円	6.4%減	60億円	8.5%
経常利益	715億円	3.5%増	660億円	4.5%減	55億円	8.3%
当期純利益	500億円	11.7%減	470億円	17.0%減	30億円	6.4%

## [将来予想に関する事項と事業等のリスク]

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。
- 当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競争・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

なお、上記リスク項目の詳細に関しては、当社の有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

## 5. その他

### 1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

当社が掲げているデマンド・イノベーションの実現に向け、創薬段階より患者様志向を明確にしたプロダクト・クリエーション活動を一層推進するために、平成21年10月、米国において、米国事業会社 Eisai Inc.（特定子会社）は、医薬品の探索研究および治験用原薬の工業化研究・製造を担う米国子会社 Eisai Research Institute of Boston Inc.（特定子会社）、医薬品の臨床研究を担う米国子会社 Eisai Medical Research Inc.（子会社）を吸収合併いたしました。この合併により、当社の特定子会社である Eisai Research Institute of Boston Inc.は消滅したため、特定子会社に該当しないことになりました。

### 2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### (1) 簡便な会計処理

##### ① 棚卸資産の評価方法

当四半期末の棚卸高の算出においては、前期末の実地棚卸高を基礎として、合理的な方法により算定しております。

#### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

6. 四半期連結財務諸表  
1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	64,612	48,061
受取手形及び売掛金	216,345	191,622
有価証券	104,519	104,018
商品及び製品	35,080	33,853
仕掛品	19,322	17,228
原材料及び貯蔵品	11,949	13,435
繰延税金資産	31,178	36,860
その他	16,583	20,016
貸倒引当金	△257	△320
流動資産合計	499,334	464,777
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	80,883	79,211
その他(純額)	73,027	76,286
有形固定資産合計	153,911	155,497
無形固定資産		
のれん	153,460	170,570
販売権	119,379	143,614
技術資産	51,195	56,978
その他	11,954	13,061
無形固定資産合計	335,989	384,225
投資その他の資産		
投資有価証券	62,897	60,583
繰延税金資産	76,122	70,792
その他	12,339	12,659
貸倒引当金	△332	△373
投資その他の資産合計	151,026	143,662
固定資産合計	640,927	683,385
資産合計	1,140,261	1,148,163



(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,370	19,095
短期借入金	49,000	22,000
未払金	64,689	70,870
未払費用	52,852	54,571
未払法人税等	7,492	33,098
売上割戻引当金	34,475	32,564
その他の引当金	646	553
その他	11,401	8,848
流動負債合計	239,929	241,603
固定負債		
社債	119,986	120,939
長期借入金	274,470	278,761
繰延税金負債	25,351	27,679
退職給付引当金	25,317	21,774
役員退職慰労引当金	2,552	2,408
その他	20,646	21,951
固定負債合計	468,324	473,514
負債合計	708,253	715,118
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	44,985	44,985
資本剰余金	56,942	56,949
利益剰余金	437,337	423,305
自己株式	△39,669	△39,683
株主資本合計	499,596	485,557
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,713	1,125
繰延ヘッジ損益	△682	△437
為替換算調整勘定	△76,184	△58,293
評価・換算差額等合計	△73,152	△57,605
新株予約権	704	613
少数株主持分	4,859	4,479
純資産合計	432,008	433,045
負債純資産合計	1,140,261	1,148,163

2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	598,695	604,489
売上原価	118,810	121,487
売上総利益	479,884	483,002
返品調整引当金繰入額	45	61
差引売上総利益	479,839	482,941
販売費及び一般管理費	※1 406,423	※1 397,880
営業利益	73,416	85,061
営業外収益		
受取利息	2,725	959
受取配当金	953	848
負ののれん償却額	243	—
その他	238	221
営業外収益合計	4,160	2,029
営業外費用		
支払利息	5,554	5,775
社債発行費	348	—
為替差損	4,344	594
持分法による投資損失	74	—
その他	863	650
営業外費用合計	11,185	7,020
経常利益	66,391	80,069
特別利益		
固定資産売却益	14	12
投資有価証券売却益	432	—
子会社株式売却益	1,575	—
その他	28	34
特別利益合計	2,050	46
特別損失		
固定資産処分損	220	361
減損損失	905	—
投資有価証券評価損	6,093	—
その他	434	6
特別損失合計	7,653	368
税金等調整前四半期純利益	60,787	79,747
法人税、住民税及び事業税	38,703	27,524
法人税等調整額	△17,584	△2,102
法人税等合計	21,119	25,422
少数株主利益	497	406
四半期純利益	39,171	53,919

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)
売上高	199,866	209,507
売上原価	39,590	42,623
売上総利益	160,275	166,884
返品調整引当金繰入額	44	8
差引売上総利益	160,230	166,875
販売費及び一般管理費	※1 133,358	※1 130,934
営業利益	26,871	35,941
営業外収益		
受取利息	922	299
受取配当金	387	372
為替差益	—	264
負ののれん償却額	81	—
その他	47	49
営業外収益合計	1,438	986
営業外費用		
支払利息	2,108	1,879
為替差損	3,283	—
持分法による投資損失	20	—
その他	116	176
営業外費用合計	5,528	2,055
経常利益	22,781	34,872
特別利益		
固定資産売却益	4	3
その他	26	23
特別利益合計	31	26
特別損失		
固定資産処分損	77	250
減損損失	905	—
投資有価証券評価損	4,645	—
その他	3	1
特別損失合計	5,631	252
税金等調整前四半期純利益	17,180	34,647
法人税、住民税及び事業税	14,150	9,072
法人税等調整額	△7,604	2,484
法人税等合計	6,546	11,556
少数株主利益	175	94
四半期純利益	10,458	22,996

3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	60,787	79,747
減価償却費	36,785	36,797
のれん償却額	7,302	6,402
その他の損益 (△は益)	8,792	4,400
売上債権の増減額 (△は増加)	△27,608	△28,212
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4,470	△3,037
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,835	555
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	14,598	8,330
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	7,351	4,005
その他	475	4,559
小計	107,849	113,548
利息及び配当金の受取額	3,515	1,711
利息の支払額	△4,518	△5,630
法人税等の支払額	△35,880	△50,312
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,965	59,317
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,428	△16,363
無形固定資産の取得による支出	△4,039	△7,072
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,390	△5,186
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	6,572	8,174
その他	△10,554	△7,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36,839	△27,803
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△317,539	27,000
長期借入れによる収入	231,530	—
社債の発行による収入	119,616	—
配当金の支払額	△38,462	△39,887
その他	△1,218	△1,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,073	△14,728
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,694	△5,623
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,357	11,161
現金及び現金同等物の期首残高	119,950	131,527
現金及び現金同等物の四半期末残高	130,307	142,688

4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

5) セグメント情報

(1) 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	194,336	5,529	199,866	—	199,866
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	87	4,224	4,311	(4,311)	—
計	194,424	9,754	204,178	(4,311)	199,866
営業利益	27,728	529	28,257	(1,385)	26,871

当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	204,108	5,399	209,507	—	209,507
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	109	3,912	4,022	(4,022)	—
計	204,217	9,312	213,530	(4,022)	209,507
営業利益	36,992	592	37,584	(1,643)	35,941

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	582,786	15,908	598,695	—	598,695
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	217	13,605	13,823	(13,823)	—
計	583,004	29,514	612,518	(13,823)	598,695
営業利益	75,648	1,376	77,024	(3,608)	73,416

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	医薬品分野 (百万円)	その他の分野 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	588,956	15,533	604,489	—	604,489
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	258	12,845	13,103	(13,103)	—
計	589,215	28,378	617,593	(13,103)	604,489
営業利益	87,779	1,619	89,399	(4,337)	85,061

(注) 1 当連結グループの事業区分は、医療用医薬品を中心とする「医薬品分野」とこれに属さない「その他の分野」であります。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
医薬品分野	医療用医薬品、一般用医薬品、診断用医薬品等
その他の分野	食品添加物、化学品、製薬用機械、その他

(2) 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	92,191	89,813	11,576	2,562	3,721	199,866	—	199,866
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,264	14,060	6,847	10	100	45,282	(45,282)	—
計	116,456	103,873	18,423	2,573	3,822	245,149	(45,282)	199,866
営業利益	21,815	3,211	514	392	707	26,642	229	26,871

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	100,994	86,661	13,989	4,005	3,856	209,507	—	209,507
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	24,488	13,316	6,217	15	224	44,262	(44,262)	—
計	125,483	99,977	20,207	4,021	4,080	253,769	(44,262)	209,507
営業利益	31,281	1,688	1,476	525	452	35,424	516	35,941

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦および中国以外の区分に属する主な国または地域
- ① 北 米：米国、カナダ
  - ② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等
  - ③ アジア他：アジア諸国および中南米諸国等
- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	258,478	277,195	40,647	8,591	13,782	598,695	—	598,695
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	75,790	44,187	24,034	25	319	144,357	(144,357)	—
計	334,269	321,382	64,681	8,617	14,101	743,052	(144,357)	598,695
営業利益	60,925	6,878	2,675	1,729	3,126	75,336	(1,920)	73,416

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	中国 (百万円)	アジア他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	280,316	261,757	39,095	11,313	12,007	604,489	—	604,489
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	78,275	44,171	20,345	44	515	143,352	(143,352)	—
計	358,591	305,928	59,440	11,358	12,523	747,842	(143,352)	604,489
営業利益	75,809	5,765	3,885	1,514	1,860	88,834	(3,773)	85,061

- (注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
- 2 本邦および中国以外の区分に属する主な国または地域
- ① 北 米：米国、カナダ
  - ② 欧 州：英国、フランス、ドイツ等
  - ③ アジア他：アジア諸国および中南米諸国等
- 3 日本におけるセグメント間の内部売上高は、主として親会社からの海外子会社に対する製品売上高等であります。また、北米、欧州、アジア他におけるセグメント間の内部売上高は、主として海外研究開発子会社の親会社への売上高であります。



(3) 海外売上高

前第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	91,852	13,048	2,562	4,950	112,413
II 連結売上高(百万円)					199,866
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	45.9	6.5	1.3	2.5	56.2

当第3四半期連結会計期間(自平成21年10月1日至平成21年12月31日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	88,605	15,688	4,138	4,241	112,673
II 連結売上高(百万円)					209,507
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	42.3	7.5	2.0	2.0	53.8

- (注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 中国以外の区分に属する主な国または地域  
     ① 北米：米国、カナダ  
     ② 欧州：英国、フランス、ドイツ等  
     ③ アジア他：アジア諸国および中南米諸国等  
 3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	284,235	50,006	8,591	16,866	359,699
II 連結売上高(百万円)					598,695
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	47.5	8.4	1.4	2.8	60.1

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	北米	欧州	中国	アジア他	計
I 海外売上高(百万円)	267,718	46,699	11,722	13,966	340,106
II 連結売上高(百万円)					604,489
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	44.3	7.7	1.9	2.3	56.3

- (注) 1 地域の区分は、地理的近接度によっております。  
 2 中国以外の区分に属する主な国または地域  
     ① 北米：米国、カナダ  
     ② 欧州：英国、フランス、ドイツ等  
     ③ アジア他：アジア諸国および中南米諸国等  
 3 海外売上高は当連結グループの本邦以外の国または地域における売上高であります。

6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

7) 注記事項

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。
販売諸費 158,064 百万円	販売諸費 152,945 百万円
研究開発費 116,927 百万円	研究開発費 116,815 百万円
給与及び賞与 50,183 百万円	給与及び賞与 47,669 百万円

前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。	※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は、次のとおりであります。
販売諸費 52,604 百万円	販売諸費 52,482 百万円
研究開発費 38,878 百万円	研究開発費 36,127 百万円
給与及び賞与 16,096 百万円	給与及び賞与 15,855 百万円

(重要な後発事象)

当社グループは、平成20年1月の米国 MGI PHARMA, INC. 買収により保有した米国 AkaRx, Inc. の買収オプション権を行使し、平成22年1月6日(米国東部時間)に同社を255百万米ドルで買収いたしました。

本買収により、当社グループは、AkaRx, Inc.の全株式を取得し、同社を米国事業会社 Eisai Inc.の100%子会社にするとともに、AkaRx, Inc.の開発品であった血小板減少症治療剤「AKR-501」について、全世界を対象とした開発・販売・製造権を獲得いたしました。

AkaRx, Inc.の全株式を取得するための対価である255百万米ドルは、米国会計基準に基づき全額研究開発費として費用処理いたします。

なお、当社は、平成20年1月の MGI PHARMA, INC.買収時より、持分はないものの、米国会計基準に基づく連結子会社として AkaRx, Inc.を連結範囲に含めておりました。

2009.12

# 参 考 資 料

平成 22 年 3 月期 第 3 四半期決算

2010 年 2 月 2 日

お問い合わせ

PR 部・IR 部

TEL 03-3817-5120 FAX 03-3811-3077

<http://www.eisai.co.jp/ir/>



## **[ 将来予想に関する事項と事業等のリスク ]**

本発表において提供される資料ならびに情報は、現在における予想、目標、評価、見通し、リスクを伴う想定などの不確実性に基づくものを含んでおります。従って、さまざまな要因の変化により、将来予想などが実際の結果と大きく乖離する可能性があります。リスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった日本および国際的な経済状況が含まれております。

当社グループの連結業績を大幅に変動させる、あるいは投資判断に重要な影響を及ぼす可能性のあるリスクは、次のとおりであります。なお、これらのリスクは、本資料作成日現在において判断、予想したものであります。

海外展開におけるリスク、新薬開発の不確実性、特定の製品への依存に関するリスク、他社とのアライアンスにおけるリスク、医療費抑制策、後発医薬品に関する競合・訴訟、知的財産に関するリスク、副作用発現のリスク、法規制に関するリスク、訴訟に関するリスク、工場の閉鎖または操業停止、使用原材料の安全性に関するリスク、外部への業務委託に関するリスク、環境に関するリスク、ITセキュリティおよび情報管理に関するリスク、金融市況および為替の動向に関するリスク、ならびに内部統制の整備等に関するリスク。

## 目次

	ページ
1 . 連結財務ハイライト	1
2 . 連結損益計算書	3
3 . 連結キャッシュ・フロー計算書	4
4 . セグメント情報	5
5 . 連結貸借対照表	10
6 . 連結四半期業績の推移	12
7 . 個別情報	16
8 . 主要開発品	20
9 . 主なイベント	25

\* 前回発表した通期の業績予想を修正しております。修正箇所には下線を付しております。

\* 当資料中の数字は、四捨五入で表示しております。

\* 当資料の作成に用いた為替レートは、下表のとおりであります。

\* 海外の損益情報については、期中平均レートを用いて円換算しております。

### 為替レート

		米国 (円/米ドル)	欧州 (円/ユーロ)	英国 (円/ポンド)
2009年3月期 第3四半期累計	期中平均レート	102.84	150.70	187.25
	期末日レート	91.03	127.96	131.83
2009年3月期	期中平均レート	100.53	143.47	173.98
	期末日レート	98.23	129.84	140.45
2010年3月期 第3四半期累計	期中平均レート	<b>93.56</b>	<b>132.99</b>	<b>150.41</b>
	期末日レート	<b>92.10</b>	<b>132.00</b>	<b>146.53</b>
2010年3月期 第4四半期	予想レート	<u><b>90.00</b></u>	<u><b>130.00</b></u>	<u><b>145.00</b></u>

### 【本資料の記載項目について】

当社グループでは、企業評価において最も本質的な能力はキャッシュ創出力と考えております。この基本的考え方に基づき、真の収益力を反映することを目的として、企業買収などで発生するのれん償却額や一括費用計上するインプロセス研究開発費、また、有形・無形固定資産の減価償却費、減損損失（投資有価証券評価損含む）という非キャッシュ損益項目を調整した「キャッシュ・インカム」「1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）」を表示しております。

#### \* キャッシュ・インカム

成長投資・事業開発、配当支払、借入返済等に使用可能なキャッシュの総額であり、企業の成長性・戦略を検証する尺度と考えております。

算式：当期純損益 + 有形・無形固定資産減価償却費 + インプロセス研究開発費 + のれん償却額  
+ 減損損失（投資有価証券評価損含む）

#### \* 1株当たりキャッシュ・インカム（キャッシュEPS）

算式：キャッシュ・インカム ÷ 発行済株式数（自己株式控除後）

## 1. 連結財務ハイライト

### 1) 損益計算書項目

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	5,987	<b>6,045</b>	101.0	7,817	<u>8,030</u>
売上原価	1,189	<b>1,215</b>	102.3	1,525	<u>1,610</u>
研究開発費	1,169	<b>1,168</b>	99.9	1,561	<u>1,810</u>
販売費・一般管理費	2,895	<b>2,811</b>	97.1	3,814	<u>3,795</u>
営業利益	734	<b>851</b>	115.9	918	<u>815</u>
経常利益	664	<b>801</b>	120.6	826	<u>745</u>
四半期(当期)純利益	392	<b>539</b>	137.7	477	403
キャッシュ・インカム	900	<b>971</b>	107.9	1,190	<u>1,205</u>
(前年同期差)					
1株当たり配当金(DPS/円)	-	-	-	140.0	150.0
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	137.5	<b>189.3</b>	51.8	167.3	<u>141.4</u>
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	315.9	<b>340.9</b>	24.9	417.8	<u>422.9</u>

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

\*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

### 2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期	
	(億円)				
営業活動によるキャッシュ・フロー	710	<b>593</b>	116	1,050	
投資活動によるキャッシュ・フロー	368	<b>278</b>	90	550	
財務活動によるキャッシュ・フロー	61	<b>147</b>	87	310	
現金及び現金同等物の期末残高	1,303	<b>1,427</b>	124	1,315	
フリー・キャッシュ・フロー	395	<b>357</b>	38	593	

\*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

### 3) 貸借対照表項目

	2009年		
	3月末	12月末	増減額
	(億円)		
総資産	11,482	<b>11,403</b>	79
負債	7,151	<b>7,083</b>	69
純資産	4,330	<b>4,320</b>	10
自己資本	4,280	<b>4,264</b>	15
自己資本比率(%)	37.3	<b>37.4</b>	0.1

#### 4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
資本的支出額	279	<b>190</b>	89	473	<u>290</u>
有形固定資産	240	<b>149</b>	91	318	<u>240</u>
無形固定資産	39	<b>41</b>	2	156	<u>50</u>
減価償却費	368	<b>368</b>	0	491	<u>482</u>

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

## 2. 連結損益計算書

(億円)

	第3四半期累計						備考
	2009年 3月期	売上比 %	2010年 3月期	売上比 %	前年同期比 %	増減額	
売上高	5,987	100.0	<b>6,045</b>	100.0	101.0	58	売上高 ・アリセプトの増加、 アシフェックスの減少
売上原価	1,188	19.8	<b>1,215</b>	20.1	102.3	27	
返品調整引当金繰入(戻入)額	0	0.0	<b>1</b>	0.0		0	
売上総利益	4,798	80.1	<b>4,829</b>	79.9	100.6	31	
研究開発費	1,169	19.5	<b>1,168</b>	19.3	99.9	1	
販売費・一般管理費	2,895	48.4	<b>2,811</b>	46.5	97.1	84	
営業利益	734	12.3	<b>851</b>	14.1	115.9	116	
営業外収益	42	0.7	<b>20</b>	0.3		21	
営業外費用	112	1.9	<b>70</b>	1.2		42	営業外費用 <減少要因> ・為替差損の減少
経常利益	664	11.1	<b>801</b>	13.2	120.6	137	
特別利益	21	0.3	<b>0</b>	0.0		20	
特別損失	77	1.3	<b>4</b>	0.1		73	
税金等調整前四半期純利益	608	10.2	<b>797</b>	13.2	131.2	190	
法人税、住民税及び事業税	387	6.5	<b>275</b>	4.6		112	
法人税等調整額	176	2.9	<b>21</b>	0.3		155	
少数株主利益	5	0.1	<b>4</b>	0.1		1	
四半期純利益	392	6.5	<b>539</b>	8.9	137.7	147	

### < キャッシュ・インカム >

四半期純利益	392	6.5	<b>539</b>	8.9	137.7	147
有形・無形固定資産減価償却費	209		<b>224</b>			14
買収に伴う無形固定資産減価償却費	159		<b>144</b>			14
のれん償却額	71		<b>64</b>			7
減損損失(投資有価証券評価損含む)	70		-			70
キャッシュ・インカム	900	15.0	<b>971</b>	16.1	107.9	71

\*定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。



### 3. 連結キャッシュ・フロー計算書

(億円)

	第3四半期累計			備考
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	
税金等調整前四半期純利益	608	<b>797</b>	190	
減価償却費	368	<b>368</b>	0	
売上債権・仕入債務及びたな卸資産の増減額	282	<b>307</b>	25	
未払金・未払費用等の増減額	146	<b>83</b>	63	
その他	239	<b>194</b>	46	
(小計)	1,078	<b>1,135</b>	57	
利息等の受取及び支払額	10	<b>39</b>	29	
法人税等の支払額	359	<b>503</b>	144	法人税等の支払額 <増加要因> ・前年に課税所得が増加
営業活動によるキャッシュ・フロー	710	<b>593</b>	116	
資本的支出等(買収などを含む)	314	<b>236</b>	78	
有価証券・投資有価証券の取得・売却等	52	<b>30</b>	22	
その他	106	<b>72</b>	34	
投資活動によるキャッシュ・フロー	368	<b>278</b>	90	
短期借入金の純増減額	3,175	<b>270</b>	3,445	
長期借入れによる収入	2,315	-	2,315	
社債の発行による収入	1,196	-	1,196	
配当金の支払額	385	<b>399</b>	14	
その他	12	<b>18</b>	6	
財務活動によるキャッシュ・フロー	61	<b>147</b>	87	
現金及び現金同等物に係る換算差額	177	<b>56</b>	121	
現金及び現金同等物の増減額	104	<b>112</b>	8	
現金及び現金同等物の期首残高	1,200	<b>1,315</b>	116	
現金及び現金同等物の期末残高	1,303	<b>1,427</b>	124	
フリー・キャッシュ・フロー	395	<b>357</b>	38	

\*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

## 4. セグメント情報

### 1) 事業の種類別 / 所在地別売上高

	第3四半期累計			(億円)
				通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	5,987	<b>6,045</b>	101.0	7,817
医薬品分野	5,828	<b>5,890</b>	101.1	7,612
日本	2,450	<b>2,678</b>	109.3	3,147
北米	2,758	<b>2,599</b>	94.3	3,684
欧州	397	<b>379</b>	95.7	497
中国	86	<b>113</b>	131.6	114
アジア他	138	<b>120</b>	87.1	169
その他の分野	159	<b>155</b>	97.6	206
日本	135	<b>126</b>	93.0	177
海外	24	<b>30</b>	123.7	29

\*外部顧客に対する売上高であります。

\*日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

北米：米国、カナダ

欧州：英国、フランス、ドイツ等

アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

### 2) 事業の種類別営業利益

	第3四半期累計			(億円)
				通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
営業利益	734	<b>851</b>	115.9	918
医薬品分野	756	<b>878</b>	116.0	945
その他の分野	14	<b>16</b>	117.7	17
消去又は全社	36	<b>43</b>	-	45

### 3) 所在地別セグメント情報

#### (1) 所在地別売上高

	第3四半期累計			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
	売上高	5,987	<b>6,045</b>	101.0
日本	2,585	<b>2,803</b>	108.4	3,325
北米	2,772	<b>2,618</b>	94.4	3,699
欧州	406	<b>391</b>	96.2	510
中国	86	<b>113</b>	131.7	114
アジア他	138	<b>120</b>	87.1	169
海外計	3,402	<b>3,242</b>	95.3	4,493
海外比率(%)	56.8	<b>53.6</b>	-	57.5

\*外部顧客に対する売上高であります。

#### (2) 所在地別営業利益

	第3四半期累計			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
	営業利益	734	<b>851</b>	115.9
日本	609	<b>758</b>	124.4	842
北米	69	<b>58</b>	83.8	2
欧州	27	<b>39</b>	145.2	32
中国	17	<b>15</b>	87.5	24
アジア他	31	<b>19</b>	59.5	35
消去又は全社	19	<b>38</b>	-	12

#### 4) 海外売上高

	第3四半期累計			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
	売上高	5,987	<b>6,045</b>	101.0
海外売上高	3,597	<b>3,401</b>	94.6	4,753
北米	2,842	<b>2,677</b>	94.2	3,791
欧州	500	<b>467</b>	93.4	640
中国	86	<b>117</b>	136.4	114
アジア他	169	<b>140</b>	82.8	207
海外売上高比率(%)	60.1	<b>56.3</b>	-	60.8

\*本頁における日本および中国以外の地域区分は、次のとおりであります。

北米：米国、カナダ

欧州：英国、フランス、ドイツ等

アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

## 5) 主力製品売上高(自社)

### (1) アリセプト(アルツハイマー型認知症治療剤)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
日本	億円	610	<b>726</b>	119.0	782
米国	億円 (百万米ドル)	1,391 (1,353)	<b>1,383</b> <b>(1,478)</b>	99.4 (109.3)	1,896 (1,886)
欧州	億円	230	<b>217</b>	94.7	288
英国	億円 (百万ポンド)	25 (14)	<b>40</b> <b>(27)</b>	158.3 (197.0)	34 (19)
フランス	億円 (百万ユーロ)	139 (92)	<b>109</b> <b>(82)</b>	78.5 (89.0)	173 (121)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	65 (43)	<b>68</b> <b>(51)</b>	104.5 (118.4)	81 (57)
中国	億円 (百万元)	7 (46)	<b>9</b> <b>(67)</b>	132.7 (144.9)	9 (64)
アジア(日本・中国除く)	億円	52	<b>40</b>	76.9	62
総計	億円	2,290	<b>2,376</b>	103.8	3,038

\*2010年3月期の売上高の総計は3,210億円を見込んでおります。

### (2) パリエット/アシフェックス(プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
日本	億円	350	<b>430</b>	122.9	446
米国	億円 (百万米ドル)	765 (744)	<b>613</b> <b>(655)</b>	80.1 (88.0)	1,012 (1,007)
欧州	億円	75	<b>62</b>	82.6	91
英国	億円 (百万ポンド)	18 (10)	<b>18</b> <b>(12)</b>	98.7 (122.8)	21 (12)
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	18 (12)	<b>12</b> <b>(9)</b>	67.6 (76.6)	21 (14)
イタリア	億円 (百万ユーロ)	33 (22)	<b>27</b> <b>(20)</b>	82.3 (93.3)	41 (29)
中国	億円 (百万元)	5 (35)	<b>8</b> <b>(58)</b>	153.2 (167.3)	7 (44)
アジア(日本・中国除く)	億円	36	<b>31</b>	84.8	43
総計	億円	1,232	<b>1,144</b>	92.9	1,599

\*2010年3月期の売上高の総計は1,480億円を見込んでおります。

\*中国(元)為替レートは次のとおりであります。

2008年4月～12月	期中平均レート	14.95円/元
2009年4月～12月	期中平均レート	13.69円/元
2008年4月～2009年3月	期中平均レート	14.63円/元

(3) メチコバル(末梢性神経障害治療剤)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
日本	億円	247	<b>250</b>	101.1	313
アジア(中国含む)	億円	66	<b>61</b>	92.9	83
総計	億円	313	<b>311</b>	99.4	395

(4) Aloxi(制吐剤)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
米国	億円 (百万米ドル)	280 (272)	<b>277</b> <b>(296)</b>	98.9 (108.7)	365 (363)

(5) Dacogen(DNAメチル化阻害剤)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
米国	億円 (百万米ドル)	126 (122)	<b>116</b> <b>(124)</b>	92.5 (101.7)	151 (150)

(6) ゾネグラン(てんかん治療剤)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
米国	億円 (百万米ドル)	16 (16)	<b>14</b> <b>(15)</b>	89.1 (97.9)	21 (21)
欧州	億円	29	<b>34</b>	115.9	38
アジア	億円	2	<b>1</b>	88.3	2
総計	億円	47	<b>50</b>	105.7	61

## 6) 人件費、販売費、管理費他

	第3四半期累計			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	5,987	<b>6,045</b>	101.0	7,817
販売費・一般管理費	2,895	<b>2,811</b>	97.1	3,814
人件費	624	<b>626</b>	100.4	805
販売費	1,810	<b>1,749</b>	96.7	2,401
管理費他	461	<b>435</b>	94.3	608
売上高比率(%)	48.4	<b>46.5</b>	-	48.8

## 7) Eisai Inc. (米国)

		第3四半期累計			通期
		2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	億円 (百万米ドル)	2,634 (2,561)	<b>2,727</b> <b>(2,915)</b>	103.5 (113.8)	3,567 (3,548)
うち旧MGI分	(百万米ドル)	(290)	<b>(454)</b>	(156.6)	(416)
営業利益	億円 (百万米ドル)	195 (189)	<b>125</b> <b>(133)</b>	64.0 (70.4)	139 (139)
四半期(当期)純利益	億円 (百万米ドル)	134 (130)	<b>72</b> <b>(77)</b>	54.0 (59.4)	17 (16)
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万米ドル)	638 (620)	- -	- -	853 (848)

\*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。

\*2009年10月にEisai Inc.はEisai Research Institute of Boston Inc.、Eisai Medical Research Inc.を吸収合併いたしました。

\*Eisai Inc.に研究開発等の機能が加わったことからロイヤルティ控除前営業利益は今回より記載を省略することといたしました。

## 5. 連結貸借対照表

### 1) 貸借対照表<資産の部>

(億円)

	2009年 3月末	構成比 %	2009年 12月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動資産	4,648	40.5	<b>4,993</b>	43.8	107.4	346	
現金及び預金	481		<b>646</b>			166	
受取手形及び売掛金	1,916		<b>2,163</b>			247	受取手形及び売掛金 <増加要因>
有価証券	1,040		<b>1,045</b>			5	・国内販売の増加
たな卸資産	645		<b>664</b>			18	
繰延税金資産	369		<b>312</b>			57	
その他	200		<b>166</b>			34	
貸倒引当金	3		<b>3</b>			1	
固定資産	6,834	59.5	<b>6,409</b>	56.2	93.8	425	
有形固定資産	1,555	13.5	<b>1,539</b>	13.5	99.0	16	
建物及び構築物	792		<b>809</b>			17	
その他	763		<b>730</b>			33	
無形固定資産	3,842	33.5	<b>3,360</b>	29.5	87.4	482	無形固定資産 <減少要因> ・減価償却
のれん	1,706		<b>1,535</b>			171	
販売権	1,436		<b>1,194</b>			242	
技術資産	570		<b>512</b>			58	
その他	131		<b>120</b>			11	
投資その他の資産	1,437	12.5	<b>1,510</b>	13.2	105.1	74	
投資有価証券	606		<b>629</b>			23	
繰延税金資産	708		<b>761</b>			53	
その他	127		<b>123</b>			3	
貸倒引当金	4		<b>3</b>			0	
資産合計	11,482	100.0	<b>11,403</b>	100.0	99.3	79	

2) 貸借対照表<負債及び純資産の部>

(億円)

	2009年 3月末	構成比 %	2009年 12月末	構成比 %	前期末比 %	増減額	備考
流動負債	2,416	21.0	<b>2,399</b>	21.0	99.3	17	
支払手形及び買掛金	191		<b>194</b>			3	
短期借入金	220		<b>490</b>			270	
未払金・未払費用	1,254		<b>1,175</b>			79	
未払法人税等	331		<b>75</b>			256	
売上割戻引当金	326		<b>345</b>			19	
その他	94		<b>120</b>			26	
固定負債	4,735	41.2	<b>4,683</b>	41.1	98.9	52	
社債	1,209		<b>1,200</b>			10	
長期借入金	2,788		<b>2,745</b>			43	
繰延税金負債	277		<b>254</b>			23	
退職給付引当金	218		<b>253</b>			35	
役員退職慰労引当金	24		<b>26</b>			1	
その他	220		<b>206</b>			13	
負債合計	7,151	62.3	<b>7,083</b>	62.1	99.0	69	
株主資本	4,856	42.3	<b>4,996</b>	43.8	102.9	140	
資本金	450		<b>450</b>			-	
資本剰余金	569		<b>569</b>			0	
利益剰余金	4,233		<b>4,373</b>			140	
自己株式	397		<b>397</b>			0	
評価・換算差額等	576	5.0	<b>732</b>	6.4	127.0	155	
その他有価証券評価差額金	11		<b>37</b>			26	
繰延ヘッジ損益	4		<b>7</b>			2	
為替換算調整勘定	561		<b>688</b>			127	為替換算調整勘定 <減少要因> ・海外子会社のB/S換算 レートの円高による影響
新株予約権	6	0.1	<b>7</b>	0.1	114.8	1	
少数株主持分	45	0.4	<b>49</b>	0.4	108.5	4	
純資産合計	4,330	37.7	<b>4,320</b>	37.9	99.8	10	
負債純資産合計	11,482	100.0	<b>11,403</b>	100.0	99.3	79	



## 6. 連結四半期業績の推移

### 1) 損益計算書項目

(億円)

	2009年3月期				2010年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	1,958	2,030	1,999	1,830	1,947	2,003	<b>2,095</b>
売上原価	394	399	396	336	383	406	<b>426</b>
研究開発費	357	423	389	392	394	413	<b>361</b>
販売費・一般管理費	967	984	945	919	928	935	<b>948</b>
営業利益	241	225	269	184	241	250	<b>359</b>
営業外損益	2	27	41	22	10	30	<b>11</b>
経常利益	239	197	228	162	232	220	<b>349</b>
特別損益	13	13	56	65	0	1	<b>2</b>
税金等調整前四半期純利益	252	184	172	97	231	220	<b>346</b>
四半期純利益	166	121	105	85	163	146	<b>230</b>
キャッシュ・インカム	318	279	303	290	307	291	<b>373</b>
1株当たり四半期(当期)純利益(EPS/円)	58.4	42.4	36.7	29.9	57.4	51.2	<b>80.7</b>
1株当たりキャッシュ・インカム(キャッシュEPS/円)	111.8	97.9	106.2	101.8	107.7	102.1	<b>131.1</b>

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

\*キャッシュ・インカムおよび1株当たりキャッシュ・インカムに関しては定義の一部変更に伴い過去実績を組替表示しております。

### 2) キャッシュ・フロー計算書項目

(億円)

	2009年3月期				2010年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	186	508	16	340	5	328	<b>271</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	77	93	198	181	129	98	<b>52</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	200	55	195	249	123	33	<b>8</b>
現金及び現金同等物の期末残高	1,130	1,421	1,303	1,315	1,052	1,184	<b>1,427</b>
フリー・キャッシュ・フロー	63	400	67	198	107	265	<b>199</b>

\*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

### 3) 貸借対照表項目

#### < 資産の部 >

(億円)

	2009年3月期				2010年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
流動資産	4,334	4,442	4,413	4,648	4,468	4,621	<b>4,993</b>
固定資産	7,319	7,123	6,558	6,834	6,806	6,478	<b>6,409</b>
有形固定資産	1,550	1,576	1,493	1,555	1,572	1,539	<b>1,539</b>
無形固定資産	4,303	4,108	3,605	3,842	3,687	3,395	<b>3,360</b>
投資その他の資産	1,466	1,440	1,460	1,437	1,547	1,544	<b>1,510</b>
資産合計	11,653	11,565	10,971	11,482	11,274	11,099	<b>11,403</b>

#### < 負債及び純資産の部 >

(億円)

	2009年3月期				2010年3月期		
	6月末	9月末	12月末	3月末	6月末	9月末	12月末
負債	6,915	6,916	6,972	7,151	6,970	6,864	<b>7,083</b>
流動負債	3,671	2,099	2,273	2,416	2,253	2,190	<b>2,399</b>
固定負債	3,244	4,818	4,699	4,735	4,717	4,674	<b>4,683</b>
純資産	4,739	4,649	3,999	4,330	4,304	4,235	<b>4,320</b>
株主資本	4,745	4,866	4,770	4,856	4,820	4,965	<b>4,996</b>
評価・換算差額等	54	266	820	576	568	784	<b>732</b>
新株予約権	6	6	6	6	6	7	<b>7</b>
少数株主持分	43	43	42	45	47	47	<b>49</b>
負債純資産合計	11,653	11,565	10,971	11,482	11,274	11,099	<b>11,403</b>

### 4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	2009年3月期				2010年3月期		
	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
資本的支出額	85	123	71	194	58	72	<b>60</b>
有形固定資産	75	103	62	77	48	59	<b>42</b>
無形固定資産	10	20	9	117	10	13	<b>18</b>
減価償却費	123	126	119	123	121	124	<b>123</b>

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

### 5) アリセプト売上高(自社)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	194	188	227	172	234	223	<b>269</b>
米国	億円 (百万米ドル)	434 (415)	499 (464)	458 (474)	505 (534)	427 (438)	501 (533)	<b>455 (507)</b>
欧州	億円	80	87	63	58	72	71	<b>75</b>
英国	億円 (百万ポンド)	7 (4)	13 (6)	5 (4)	8 (6)	15 (10)	13 (9)	<b>12 (8)</b>
フランス	億円 (百万ユーロ)	51 (31)	50 (31)	38 (30)	34 (28)	35 (27)	36 (27)	<b>38 (29)</b>
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	21 (13)	24 (15)	20 (15)	16 (13)	21 (16)	22 (16)	<b>25 (19)</b>
中国	億円 (百万元)	1 (9)	3 (20)	2 (18)	2 (18)	2 (14)	4 (27)	<b>3 (26)</b>
アジア(日本・中国除く)	億円	20	20	12	10	14	13	<b>13</b>
総計	億円	729	796	764	748	748	812	<b>815</b>

### 6) パリエット/アシフェックス売上高(自社)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	110	106	134	95	134	128	<b>169</b>
米国	億円 (百万米ドル)	259 (248)	270 (251)	236 (245)	247 (263)	198 (203)	206 (220)	<b>208 (231)</b>
欧州	億円	25	26	25	16	21	20	<b>21</b>
英国	億円 (百万ポンド)	6 (3)	7 (3)	4 (3)	3 (3)	6 (4)	6 (4)	<b>6 (4)</b>
ドイツ	億円 (百万ユーロ)	6 (4)	7 (4)	5 (4)	3 (3)	4 (3)	4 (3)	<b>4 (3)</b>
イタリア	億円 (百万ユーロ)	12 (7)	12 (7)	10 (8)	8 (7)	9 (7)	9 (7)	<b>9 (7)</b>
中国	億円 (百万元)	1 (9)	2 (13)	2 (13)	1 (10)	4 (26)	2 (12)	<b>3 (20)</b>
アジア(日本・中国除く)	億円	13	13	10	7	11	10	<b>10</b>
総計	億円	408	417	406	367	367	366	<b>411</b>

### 7) メチコパール売上高(自社)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
日本	億円	83	77	87	65	83	77	<b>89</b>
アジア(中国含む)	億円	24	24	18	17	18	22	<b>21</b>
総計	億円	107	101	105	82	102	99	<b>110</b>

## 8) Aloxi 売上高 (自社)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万米ドル)	95 (90)	95 (88)	91 (94)	85 (91)	95 (97)	95 (101)	<b>87</b> <b>(97)</b>

## 9) Dacogen 売上高 (自社)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万米ドル)	44 (42)	43 (40)	39 (41)	25 (28)	42 (43)	37 (40)	<b>38</b> <b>(42)</b>

## 10) ソネグラン売上高 (自社)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
米国	億円 (百万米ドル)	5 (4)	6 (5)	6 (6)	5 (5)	5 (5)	4 (5)	<b>5</b> <b>(6)</b>
欧州	億円	10	10	9	8	10	11	<b>13</b>
アジア	億円	1	1	0	0	0	0	<b>0</b>
総計	億円	15	16	15	14	16	16	<b>18</b>

## 11) Eisai Inc. (米国)

		2009年3月期				2010年3月期		
		第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期	第4 四半期	第1 四半期	第2 四半期	第3 四半期
売上高	億円 (百万米ドル)	748 (716)	980 (913)	906 (932)	932 (986)	839 (862)	918 (978)	<b>970</b> <b>(1,074)</b>
うち旧MGI分	(百万米ドル)	(-)	(142)	(148)	(126)	(151)	(153)	<b>(151)</b>
営業利益	億円 (百万米ドル)	40 (39)	81 (75)	74 (76)	55 (51)	27 (27)	56 (59)	<b>42</b> <b>(47)</b>
四半期純利益	億円 (百万米ドル)	26 (25)	52 (48)	56 (57)	151 (147)	17 (18)	36 (38)	<b>20</b> <b>(22)</b>
ロイヤルティ控除前営業利益	億円 (百万米ドル)	181 (174)	239 (222)	218 (225)	215 (228)	182 (187)	233 (248)	- -

\*2008年7月よりMGI PHARMA, INC.の販売機能がEisai Inc.に統合されました。

\*2009年10月にEisai Inc.はEisai Research Institute of Boston Inc.、Eisai Medical Research Inc.を吸収合併いたしました。

\*Eisai Inc.に研究開発等の機能が加わったことからロイヤルティ控除前営業利益は今回より記載を省略することといたしました。

## 7. 個別情報

### 1) 個別財務ハイライト

#### (1) 損益計算書項目

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
	(億円)				
売上高	3,133	<b>3,358</b>	107.2	4,156	<u>4,330</u>
売上原価	633	<b>638</b>	100.8	814	<u>825</u>
研究開発費	1,080	<b>1,095</b>	101.3	1,430	<u>1,460</u>
販売費・一般管理費	874	<b>951</b>	108.8	1,154	<u>1,275</u>
営業利益	546	<b>675</b>	123.6	758	<u>770</u>
経常利益	487	<b>640</b>	131.3	691	<u>715</u>
四半期(当期)純利益	335	<b>454</b>	135.6	566	<u>500</u>

\*売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて表示しております。

#### (2) キャッシュ・フロー計算書項目

	第3四半期累計			通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期
	(億円)			
営業活動によるキャッシュ・フロー	185	<b>378</b>	192	420
投資活動によるキャッシュ・フロー	500	<b>165</b>	665	415
財務活動によるキャッシュ・フロー	777	<b>135</b>	642	1,009
現金及び現金同等物の期末残高	185	<b>180</b>	6	102
フリー・キャッシュ・フロー	64	<b>296</b>	232	253

\*フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(資本的支出等(買収などを含む))

#### (3) 貸借対照表項目

##### <資産の部>

	2009年		
	3月末	12月末	増減額
	(億円)		
流動資産	2,641	<b>2,693</b>	51
固定資産	6,803	<b>6,867</b>	64
有形固定資産	837	<b>787</b>	50
無形固定資産	280	<b>264</b>	16
投資その他の資産	5,686	<b>5,816</b>	131
資産合計	9,444	<b>9,560</b>	116

< 負債及び純資産の部 >

(億円)

	2009年		増減額
	3月末	12月末	
負債	4,637	<b>4,676</b>	39
流動負債	1,126	<b>1,127</b>	1
固定負債	3,511	<b>3,549</b>	38
純資産	4,807	<b>4,884</b>	77
株主資本	4,794	<b>4,850</b>	56
評価・換算差額等	7	<b>27</b>	20
新株予約権	6	<b>7</b>	1
負債純資産合計	9,444	<b>9,560</b>	116
自己資本	4,801	<b>4,877</b>	76
自己資本比率(%)	50.8	<b>51.0</b>	0.2

(4) 資本的支出及び減価償却費の状況

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	増減額	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
資本的支出額	94	<b>78</b>	16	147	<u>130</u>
有形固定資産	69	<b>44</b>	25	102	<u>90</u>
無形固定資産	25	<b>33</b>	9	45	40
減価償却費	132	<b>143</b>	11	178	<u>190</u>

\*減価償却費には無形固定資産に対する償却費を含めて表示しております。

## 2) 売上高の状況

	第3四半期累計			(億円)
				通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	3,133	<b>3,358</b>	107.2	4,156
医療用医薬品	2,040	<b>2,279</b>	111.7	2,604
医薬品輸出	399	<b>351</b>	87.9	525
一般用医薬品等	147	<b>147</b>	100.2	190
その他の分野(食品添加物、化学品)	12	<b>10</b>	86.6	17
工業所有権等収益	535	<b>571</b>	106.7	821

## 3) 地域別輸出状況

	第3四半期累計			(億円)
				通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
売上高	3,133	<b>3,358</b>	107.2	4,156
輸出高	930	<b>917</b>	98.6	1,341
北米	678	<b>707</b>	104.4	1,016
欧州	185	<b>137</b>	73.9	236
アジア他(中国含む)	68	<b>73</b>	107.9	89
売上高比率(%)	29.7	<b>27.3</b>	-	32.3

\*地域区分は次のとおりであります。

北米：米国、カナダ

欧州：英国、フランス、ドイツ等

アジア他：アジア諸国および中南米諸国等

\*輸出高には工業所有権等収益(海外)を含めて表示しております。

## 4) 医薬品輸出高

	第3四半期累計			(億円)
				通期
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期
アリセプト	198	<b>157</b>	79.1	256
パリエット/アシフェックス	135	<b>117</b>	86.3	185
その他	66	<b>77</b>	117.6	84
医薬品輸出計	399	<b>351</b>	87.9	525

## 5) 医療用医薬品主力製品売上高

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
アルツハイマー型認知症治療剤 アリセプト	610	<b>726</b>	119.0	782	<u>925</u>
プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤 パリエット	350	<b>430</b>	122.9	446	<u>530</u>
末梢性神経障害治療剤 メチコパール	247	<b>250</b>	101.1	313	<u>315</u>
胃炎・胃潰瘍治療剤 セルベックス	127	<b>116</b>	91.2	160	<u>145</u>
骨粗鬆症治療剤 アクトネル	70	<b>86</b>	122.0	93	<u>110</u>
経口抗凝固剤 ワーファリン	61	<b>68</b>	110.5	79	90
筋緊張改善剤 ミオナール	61	<b>61</b>	99.8	77	75
非イオン性造影剤 イオメロン	57	<b>56</b>	99.5	71	<u>70</u>
ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体 ヒュミラ	12	<b>48</b>	410.9	19	<u>70</u>
骨粗鬆症治療用ビタミンK <sub>2</sub> 剤 グラケー	44	<b>40</b>	90.8	54	<u>50</u>
その他	401	<b>398</b>	99.3	510	<u>510</u>
医療用医薬品計	2,040	<b>2,279</b>	111.7	2,604	<u>2,890</u>

\*「ヒュミラ」は2008年6月より販売を開始しております。

## 6) 一般用医薬品等主力製品グループ売上高

(億円)

	第3四半期累計			通期	
	2009年 3月期	2010年 3月期	前年同期比 %	2009年 3月期	2010年 3月期(予)
ビタミンB <sub>2</sub> 主剤「チョコラBBプラス」等 チョコラBBグループ	78	<b>78</b>	100.5	99	<u>100</u>
メコバラミン主剤「ナボリンEB錠」等 ナボリングループ	17	<b>17</b>	103.2	22	25
天然ビタミンE剤「ユベラックス 2」等 ビタミンEグループ	12	<b>11</b>	87.3	15	10
緑の胃ぐすり「サクロン」等 サクロングループ	11	<b>11</b>	96.5	14	15
その他	29	<b>30</b>	104.2	40	<u>45</u>
一般用医薬品等計	147	<b>147</b>	100.2	190	195



## 8. 主要開発品

### 1) 開発ステージ別一覧

#### (1) 承認取得品

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	承認時期	剤形
アリセプト (E2020)	【剤形追加】内服ゼリー剤の剤形追加	日本	2009年7月	経口
グルファスト	速効型インスリン分泌促進剤 / 2型糖尿病 (一般名: ミチグリニド)	フィリピン タイ	2009年7月 2009年12月	経口
Inovelon (E2080)	てんかん治療剤 / レノックス・ガストー症候群の併用療法 (一般名: ルフィナマイド)	韓国	2009年7月	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】乾癬の効能・効果、用法・用量追加	日本	2010年1月	注射

#### (2) 申請中・申請準備中開発品

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	申請(予定)時期	剤形
アリセプト (E2020)	【適応追加】脳血管性認知症の効能・効果追加	米国 (欧州)	2002年11月 申請準備中)	経口
E2014	痙性斜頸治療剤 (一般名: B型ボツリヌス毒素)	日本	2006年12月	注射
ガスモチン	消化管運動機能改善剤 (一般名: モサプリド)	アジア <sup>1</sup>	2007年5月	経口
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名: クレブジン)	アジア <sup>1</sup>	2007年5月	経口
KES524	肥満症治療剤 / 脳内セロトニンとノルアドレナリンの再取り込み阻害 (一般名: シブトラミン)	日本	2007年11月	経口
グルファスト	速効型インスリン分泌促進剤	アジア <sup>1</sup>	2008年3月	経口
ゾネグラン (E2090)	【剤形追加】口腔内崩壊錠の剤形追加 (一般名: ソニサミド)	欧州	2009年3月	経口
Dacogen (E7373)	【用法・用量追加】骨髄異形成症候群(MDS)5日間投与の用法・ 用量追加	米国	2009年7月	注射
E7389	抗がん剤(乳がん) / 微小管ダイナミクス阻害剤 (一般名: エリブリン)	スイス シンガポール	2009年7月	注射
バリエット (E3810)	【適応追加】非びらん性胃食道逆流症の効能・効果追加	日本	2009年9月	経口
バリエット (E3810)	【適応追加】3剤併用による胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する 内視鏡的治療後胃、及び特発性血小板減少性紫斑病における ヘリコバクター・ピロリの除菌療法に係る効能・効果追加	日本	2009年9月	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】クローン病の効能・効果追加	日本	2009年9月	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】強直性脊椎炎の効能・効果追加	日本	2009年10月	注射
アリセプト (E2020)	【剤形追加】徐放製剤の用法・用量、剤形追加	米国	2009年11月	経口
タンボコール	【適応追加、用法・用量追加】小児における頻脈性不整脈の効能・ 効果、用法・用量追加	日本	2010年1月	経口

: 2009年10月以降の進捗

1 申請中、申請準備中の対象国は「2) 領域別一覧」(P23~P24)に記載しております。

( 3 ) 臨床試験中開発品 ( フェーズ ~ / )

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
* E2007	てんかん治療剤 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州 日本		2011年度	経口
* E5564	敗血症治療剤 / エンドトキシン拮抗剤 (一般名:エリトラン)	米国 欧州 日本		2010年度	注射
E7389	抗がん剤 (乳がん) / 微小管ダイナミクス阻害剤 (一般名:エリプリン)	米国 欧州 日本		2009年度	注射
MORAb-003	抗がん剤 (卵巣がん) / モノクローナル抗体 (一般名:farletuzumab)	米国 欧州		2012年度	注射
SEP-190	不眠症治療剤 / GABA-A受容体作動剤 (一般名:エスゾピクロン)	日本		2010年度	経口
T-614	関節リウマチ治療剤 (一般名:イグラチモド)	日本		2011年度	経口
アシフェックス (E3810)	【剤形追加】長時間作用型製剤の剤形追加	米国		2009年度	経口
Saforis (E6014)	口腔粘膜炎症治療剤 / グルタミン懸濁液	米国			外用
ゾネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん小児適応の効能・効果追加	欧州		2011年度	経口
ゾネグラン (E2090)	【適応追加】てんかん単剤療法の効能・効果追加	欧州		2012年度	経口
Dacogen (E7373)	【適応追加】急性骨髄性白血病 (AML) の効能・効果追加	米国		2010年度	注射
* ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】若年性関節リウマチの効能・効果追加	日本		2010年度	注射
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】関節の構造的損傷の防止の効能・効果追加	日本		2011年度	注射
クレブジン	慢性B型肝炎治療剤 (一般名:クレブジン)	中国	準備中		経口
E0302	筋萎縮性側索硬化症 (ALS) (一般名:メコバラミン)	日本	/		注射
AS-3201	糖尿病合併症治療剤 / アルドース還元酵素阻害剤 (一般名:ラニレスタット)	米国 欧州	/ /		経口
amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成治療剤 / 治療用DNAワクチン	米国	/		注射
* パリエット (E3810)	【用法・用量追加】逆流性食道炎の用法・用量追加	日本	/	2010年度	経口
ヒュミラ (D2E7)	【適応追加】潰瘍性大腸炎の効能・効果追加	日本	/	2011年度	注射

: 2009年10月以降の進捗、\* : 申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

(4) 臨床試験中開発品 (フェーズ)

製品名、 開発品コード	薬効/作用または分類	地域	開発段階	申請予定時期	剤形
E2007	神経因性疼痛治療剤 / AMPA受容体拮抗剤 (一般名:ペランパネル)	米国 欧州			経口
E2007	多発性硬化症治療剤 / AMPA受容体拮抗剤	欧州			経口
E2007	片頭痛予防 / AMPA受容体拮抗剤	米国			経口
E5555	急性冠症候群治療剤 / トロンピン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本		2012年度	経口
E5555	アテローム血栓症治療剤 / トロンピン受容体拮抗剤	米国 欧州 日本			経口
E6201	乾癬治療剤 / 新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤	米国			外用
E7080	抗がん剤 (甲状腺がん) / VEGF受容体チロシンキナーゼ阻害剤	米国 欧州			経口
E7389	抗がん剤 (非小細胞肺癌) / 微小管ダイナミクス阻害剤 (一般名:エリブリン)	米国			注射
E7389	抗がん剤 (前立腺がん) / 微小管ダイナミクス阻害剤	米国 欧州			注射
E7389	抗がん剤 (肉腫) / 微小管ダイナミクス阻害剤	欧州			注射
E7820	抗がん剤 (大腸がん) / 2インテグリン発現抑制剤	米国			経口
* AKR-501 (E5501)	血小板減少症治療剤 / トロンボポエチン受容体作動剤	米国		2012年度	経口
MORAb-009	抗がん剤 (中皮腫) / モノクローナル抗体	米国 欧州			注射
アリセプト (E2020)	【適応追加】レビー小体型認知症の効能・効果追加	日本			経口
irofulven (E7850)	抗がん剤 (前立腺がん等) / DNA合成阻害剤	米国			注射
パリエット (E3810)	【適応追加】機能性ディスペプシアの効能・効果追加	日本			経口

: 2009年10月以降の進捗、\* : 申請予定時期が前回から変更になったことを示しております。

・ MORAb-009のすい臓がん適応に関しては今後の開発戦略を検討することとしましたので本リストから除いております。

## 2) 領域別一覧

### (1) 神経

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
アリセプト (E2020)	アセチルコリンエステラーゼ阻害作用に基づき、すでにアルツハイマー型認知症治療剤として承認を取得しています。(一般名:ドネペジル)	【適応追加等】 脳血管性認知症 米:申請中 レビー小体型認知症 日:フェーズ 【剤形追加】 内服ゼリー剤 日:承認 徐放製剤 米:申請中
E2007	グルタミン酸受容体のサブタイプであるAMPA受容体へのグルタミン酸の結合を選択的に阻害します。神経疾患に対し様々な効果を期待しています。(一般名:ペランパネル)	てんかん 欧米:フェーズ 日:フェーズ 神経因性疼痛 欧米:フェーズ 片頭痛予防 米:フェーズ 多発性硬化症 欧:フェーズ
AS-3201	アルドース還元酵素を強力に阻害することにより細胞内のソルビトール蓄積を抑制します。糖尿病の代表的な合併症である糖尿病性神経障害の治療剤として開発を進めています。(一般名:ラニレスタット)	糖尿病性神経障害 欧米:フェーズ /
ゾネグラン (E2090)	幅広い抗てんかんスペクトラムを有し、忍容性の高いてんかん治療剤です。すでに成人部分てんかんを対象に併用療法の適応を取得しています。(一般名:ゾニサミド)	【適応追加】 単剤療法 欧:フェーズ 小児適応 欧:フェーズ 【剤形追加】 口腔内崩壊錠 欧:申請中
E0302	傷ついた末梢神経を修復する作用があり、すでに末梢性神経障害治療剤として広く使われています。新たに、筋萎縮性側索硬化症(ALS)治療剤をめざしています。(一般名:メコバラミン)	筋萎縮性側索硬化症(ALS) 日:フェーズ /
E2014	神経筋接合部でコリン作動性神経終末に作用し、アセチルコリンの遊離を阻害することで筋を弛緩させます。痙性斜頸治療剤をめざしています。(一般名:B型ボツリヌス毒素)	痙性斜頸 日:申請中
SEP-190	非ベンゾジアゼピン系に属するGABA-A受容体作動剤で、睡眠導入剤として、一過性不眠、短期不眠や高齢者の不眠に効果を期待しています。(一般名:エソゾピクロン)	不眠症 日:フェーズ
Inovelon (E2080)	レノックス・ガストー症候群の併用療法として、欧州では「Inovelon」、米国では「Banzel」のブランド名で承認を取得しており、韓国でも承認されました。(一般名:ルフィナマイド)	レノックス・ガストー症候群の併用療法 韓国:承認

### (2) がん、支持療法

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
E7389	クロイソカイメン由来のハリコンドリリンBの合成誘導体で、微小管の伸長を阻害し細胞周期を停止させることで抗腫瘍活性を示します。乳がんをはじめ、各種固形がんの効果を目指しています。(一般名:エリプリン)	乳がん 欧米:フェーズ 日:フェーズ スイス、シンガポール:申請中 非小細胞肺癌 米:フェーズ 前立腺がん 欧米:フェーズ 肉腫 欧:フェーズ
E7820	血管内皮細胞の接着分子であるインテグリン 2の発現抑制作用により血管新生を阻害します。	大腸がん 米:フェーズ
E7080	血管内皮増殖因子(VEGF)の受容体であるVEGFR2のチロシンキナーゼを阻害する、血管新生阻害剤です。各種固形がんの効果を目指しています。	甲状腺がん 欧米:フェーズ
MORAb-003	葉酸受容体(FRA)に対するヒト化IgG1抗体です。FRAが過剰発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。(一般名:farletuzumab)	卵巣がん 欧米:フェーズ
MORAb-009	メソセリンに対するキメラ型IgG1抗体です。メソセリンを発現しているがん腫に対して抗腫瘍効果を期待しています。	中皮腫 欧米:フェーズ
Dacogen (E7373)	DNAメチル化阻害による細胞分化誘導作用を有します。すでに米国で骨髄異形成症候群(MDS)治療剤として承認を取得しています。(一般名:デシタピン)	【適応追加】 急性骨髄性白血病(AML) 米:フェーズ 【用法・用量】 MDS5日間投与 米:申請中 前立腺がん等 米:フェーズ
irofulven (E7850)	DNA合成阻害により各種固形がんの効果を目指しています。	前立腺がん等 米:フェーズ
AKR-501 (E5501)	トロンボポエチン受容体のアゴニストで、血小板増加を促進させる経口の新規化合物です。血小板減少を示す病状への効果を期待しています。	特発性血小板減少性紫斑病 米:フェーズ 肝疾患に伴う血小板減少症 米:フェーズ
amolimogene (E7101)	子宮頸部異形成等を引き起こす原因の1つであるヒトパピローマウイルス(HPV)に対する、治療用DNAワクチンです。	子宮頸部異形成 米:フェーズ /
Saforis (E6014)	グルタミン懸濁液製剤です。化学療法に伴う口腔粘膜炎に対して保護作用を示します。	口腔粘膜炎 米:フェーズ

### (3) 血管・免疫反応

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
ヒュミラ (D2E7)	ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体であり、自己免疫疾患の炎症反応に関わる中心的なサイトカインであるTNF を中和します。日本では関節リウマチ、乾癬の承認を取得しています。 (一般名：アダリムマブ)	【適応追加】 乾癬 日：承認 クローン病 日：申請中 若年性関節リウマチ 日：フェーズ 強直性脊椎炎 日：申請中 関節の構造的損傷の防止 日：フェーズ 潰瘍性大腸炎 日：フェーズ /
E5564	エンドトキシン拮抗作用により、炎症性サイトカインの遊離を阻害し、エンドトキシンによって引き起こされる臨床症状の発現を抑制します。 (一般名：エリトラン)	重症敗血症 国際共同試験：フェーズ
E5555	トロンピン受容体 (PAR-1) と選択的に結合し、トロンピンが介在する血小板や血管平滑筋細胞の活性化を抑制し、血小板凝集抑制作用と平滑筋増殖抑制作用を示します。	急性冠症候群 日米欧：フェーズ アテローム血栓症 日米欧：フェーズ
E6201	新規MEK-1/MEKK-1キナーゼ阻害剤です。乾癬において、炎症性の細胞内シグナル伝達の抑制や皮膚の上皮細胞の異常増殖を抑制することによる効果を期待しています。	乾癬 米：フェーズ
T-614	炎症性のサイトカインの産生および免疫グロブリン産生を抑制し、関節リウマチへの効果を期待しています。 (一般名：イグラチモド)	関節リウマチ 日：フェーズ
タンボコール	心筋のナトリウムチャネル遮断作用によって頻脈性不整脈を抑制します。すでに、成人における頻脈性不整脈（発作性心房細動・粗動、心室性）の承認を取得しています。(一般名：フレカイニド)	小児における頻脈性不整脈 日：申請中

### (4) 消化器

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
パリエット/ アシフェックス (E3810)	プロトンポンプ阻害作用に基づき、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、ヘリコバクター・ピロリ除菌などの承認を取得しています。 (一般名：ラベプラゾール)	【適応追加】 非びらん性胃食道逆流症 日：申請中 3剤併用による胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、及び特発性血小板減少性紫斑病におけるヘリコバクター・ピロリの除菌療法 日：申請中 機能性ディスペプシア 日：フェーズ 【用法・用量追加】 逆流性食道炎 日：フェーズ / 【剤形追加】 長時間作用型製剤 米：フェーズ
ガスマチン	選択的なセロトニン (5-HT <sub>4</sub> ) 受容体アゴニストであり、アセチルコリン遊離の増大を介して消化管運動促進作用および胃排出促進作用を示します。すでにタイで承認されており、またフィリピンでも承認されました。 シンガポールの申請は取り下げました。 (一般名：モサブリド)	機能性胃腸症 フィリピン：承認 マレーシア、インドネシア、ベトナム：申請中 アセアン等4カ国：申請準備中

### (5) 他疾患

製品名、 開発品コード	概要	開発状況
KES524	脳内の神経伝達物質であるセロトニンとノルアドレナリンの再取り込みを阻害することにより、中枢におけるノルアドレナリン機能とセロトニン機能が亢進し、満腹感の亢進とエネルギー消費促進が起こり、体重増加の抑制をもたらします。(一般名：シブトラミン)	肥満症 日：申請中
クレブジン	DNAポリメラーゼ阻害による抗ウイルス作用に基づく慢性B型肝炎治療剤です。すでにフィリピンで承認されています。 (一般名：クレブジン)	慢性B型肝炎 マレーシア、タイ、インドネシア、インド：申請中 アセアン2カ国：申請準備中 中国：フェーズ 準備中
グルファスト	膵臓の細胞スルフォニルウレア受容体と選択的に結合し、膵臓からのインスリン分泌を促進することによって血糖の低下作用を示します。フィリピン、タイで承認されました。 (一般名：ミチグリニド)	糖尿病 フィリピン、タイ：承認 マレーシア、インドネシア、シンガポール：申請中 アセアン5カ国：申請準備中

## 9. 主なイベント

年 月	概 要
2009年4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>キッセイ薬品工業株式会社と、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ」のアセアン諸国、インド、スリランカにおけるライセンス契約を締結 &lt;4月2日リリース&gt;</li> <li>ノーベルファーマ株式会社と、「Gliadel Wafer」の日本におけるライセンス契約を締結 &lt;4月6日リリース&gt;</li> <li>てんかん治療剤「Zebinix」、欧州で成人の部分てんかんにおける他の抗てんかん薬との併用療法の効能・効果で承認を取得 &lt;4月28日リリース&gt;</li> </ul>
2009年5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009年5月8日発表の米国ファイザー社の10-Qレポートについて &lt;5月9日リリース&gt;</li> <li>ストックオプションとして新株予約権を発行する件 &lt;5月14日リリース&gt;</li> <li>シンバイオ製薬株式会社と、「ベンダムスチン塩酸塩」の韓国およびシンガポールにおける開発および販売に関する独占的ライセンス契約を締結 &lt;5月18日リリース&gt;</li> </ul>
2009年6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>診断薬事業子会社の三光純薬株式会社が生化学自動分析装置用の間質性肺炎診断補助マーカーKL-6測定試薬「ナノピアKL-6 エーザイ」を日本で新発売（7月1日発売） &lt;6月1日リリース&gt;</li> <li>オーストリアに医薬品販売子会社を設立 &lt;6月17日リリース&gt;</li> <li>ストックオプション（新株予約権）の割当に関するお知らせ &lt;6月19日リリース&gt;</li> <li>欧州戦略拠点「欧州ナレッジセンター」を開設 &lt;6月26日リリース&gt;</li> </ul>
2009年7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>新組織体制「エーザイ・プロダクトクリエーション・システムズ」をスタート</li> <li>「アリセプト」の患者価値貢献のためのプログラム（剤形・用途追加）の現況について &lt;7月2日リリース&gt;</li> <li>ストックオプション（新株予約権）の発行内容等確定に関するお知らせ &lt;7月6日リリース&gt;</li> <li>DNAメチル化阻害剤「Dacogen」、小児の急性骨髄性白血病を対象とした臨床試験を米国で開始 &lt;7月6日リリース&gt;</li> <li>米国食品医薬品局（FDA）がDNAメチル化阻害剤「Dacogen」の骨髄異形成症候群における5日間投与に関する用法・用量追加申請を受理 &lt;7月8日リリース&gt;</li> <li>ジェネリック医薬品事業子会社のエルメッド エーザイ株式会社が株式会社三和化学研究所と、経口浸透圧利尿・メニエール病改善剤「メニレット70%ゼリー」の日本における販売に関するライセンス契約を締結 &lt;7月14日リリース&gt;</li> <li>アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」、日本で新剤形の内服ゼリー剤の承認を取得 &lt;7月22日リリース&gt;</li> <li>抗がん剤「E7389」、スイスで局所進行・転移性乳がんを適応として承認申請 &lt;7月27日リリース&gt;</li> <li>Biocompatibles International plc（英国）と、血管塞栓用ピースに関する日本における開発と販売に係るライセンス契約を締結 &lt;7月28日リリース&gt;</li> <li>当社株主価値・株主共同の利益の確保に関する対応方針の継続について &lt;7月31日リリース&gt;</li> <li>速効型インスリン分泌促進剤「グルファスト」、フィリピンで2型糖尿病の効能・効果で承認を取得</li> <li>てんかん治療剤「Inovelon」、韓国でレノックス・ガストー症候群の併用療法の効能・効果で承認を取得</li> </ul>
2009年9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」の戦略的提携に関するファイザー社との合意について &lt;9月25日リリース&gt;</li> <li>株式会社キョーリンの子会社である杏林製薬株式会社と、過活動膀胱治療剤「ウリトス錠」の中国・アセアン諸国・インド・スリランカにおけるライセンス契約を締結 &lt;9月29日リリース&gt;</li> <li>プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「バリエット」、日本で、非びらん性胃食道逆流症の効能・効果の追加を申請 &lt;9月29日リリース&gt;</li> <li>DNDi（Drugs for Neglected Diseases initiative）と、シャーガス病に対する新薬開発に関する提携およびライセンス契約を締結 &lt;9月29日リリース&gt;</li> <li>ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本でクローン病の効能・効果を追加申請 &lt;9月30日リリース&gt;</li> </ul>

年 月	概 要
2009年10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国において、Eisai Inc.は、Eisai Research Institute of Boston Inc.、Eisai Medical Research Inc.を吸収合併</li> <li>・ 英国において、Eisai London Research Laboratories Ltd.はEisai Ltd.へ事業を譲渡</li> <li>・ てんかん治療剤「Zebinix」をドイツ、英国、オーストリア、デンマークで発売</li> <li>・ プロトンポンプ阻害型抗潰瘍剤「バリエット」、日本で胃MALTリンパ腫、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃、及び特発性血小板減少性紫斑病に対する3剤併用によるヘリコバクター・ピロリの除菌療法に係る効能・効果の追加を申請 &lt;10月1日リリース&gt;</li> <li>・ 中東パーレーンにリージョナルオフィスを開設 &lt;10月16日リリース&gt;</li> <li>・ 塗るだけで、花粉・ハウスダストなどをイオンの力で防ぐ塗るマスク「クリスタルヴェール」を日本で新発売 &lt;10月19日リリース&gt;</li> <li>・ 株式会社TSD Japanと、皮膚T細胞リンパ腫治療剤「denileukin diftitox」の日本におけるライセンス・共同開発契約を締結 &lt;10月26日リリース&gt;</li> <li>・ ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で強直性脊椎炎の効能・効果を追加申請 &lt;10月28日リリース&gt;</li> <li>・ クインタイルズ社と、抗がん剤開発における戦略的提携契約を締結 &lt;10月30日リリース&gt;</li> <li>・ 抗がん剤「E7389」、フェーズ 試験において主要評価項目（全生存期間）を達成 &lt;10月30日リリース&gt;</li> </ul>
2009年11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鎮静剤「LUSEDRA注射剤」を米国で新発売 &lt;11月17日リリース&gt;</li> <li>・ 米国食品医薬品局（FDA）がアルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト23mg 徐放製剤」の新薬承認申請を受理 &lt;11月25日リリース&gt;</li> </ul>
2009年12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アルツハイマー型認知症治療剤「アリセプト」の新剤形である内服ゼリー剤を日本で新発売 &lt;12月1日リリース&gt;</li> <li>・ インドに生産・プロセス研究拠点を開設 &lt;12月17日リリース&gt;</li> <li>・ 米国において、AkaRx, Inc.買収の手続きを開始 &lt;12月18日リリース&gt;</li> <li>・ 隣酵素補充療法剤「SA-001」、日本で製造販売承認を申請 &lt;12月24日リリース&gt;</li> <li>・ 速効型インスリン分泌促進剤「グルファスト」、タイで承認を取得</li> </ul>
2010年1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 米国において、AkaRx, Inc. の買収を完了 &lt;1月7日リリース&gt;</li> <li>・ チョコラBBブランドから「チョコラBBローヤルT」を日本で新発売（2月8日発売予定） &lt;1月12日リリース&gt;</li> <li>・ 頻脈性不整脈治療剤「タンボコール錠」、日本で小児における効能・効果および用法・用量の追加を申請 &lt;1月14日リリース&gt;</li> <li>・ ハイチ大地震に対する被害救済支援活動について &lt;1月19日リリース&gt;</li> <li>・ ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体「ヒュミラ」、日本で乾癬に関する効能・効果の追加承認を取得 &lt;1月20日リリース&gt;</li> </ul>